

平成 26 年 8 月 11 日  
アンジェス MG 株式会社

### 第 20 回日本遺伝子治療学会において「アンジェス賞」を授与

当社は、平成 26 年 8 月 6 日（水）から 8 日（金）に東京で開催された第 20 回日本遺伝子治療学会（会長：東京大学医科学研究所 齊藤 泉教授）において、遺伝子治療研究の発展に大きな貢献をされた 3 名の研究者に「アンジェス賞」及び「アンジェストラベルグラント賞」を授与致しました。

「アンジェス賞」は遺伝子医薬の創薬バイオベンチャーである当社が、遺伝子治療全体の発展を目的として平成 22 年に創設したものです。これまでも日本遺伝子治療学会にて遺伝子治療研究の発展に貢献した研究者に「アンジェス賞」を提供して参りました。

今回の学会では以下 3 名の研究者が受賞されました。

#### 1. アンジェス賞（2名）

岡山大学大学院医歯薬学総合診療科 泌尿器病態学 佐々木 克己先生

テーマ 「A phase I/IIa study of REIC/Dkk-3 (reduced expression in immortalized cells) gene therapy for prostate cancer; Challenges in establishing REIC/Dkk-3 as a cancer vaccine.」

（前立腺がんに対する Ad/REIC-Dkk-3 を用いた臨床第 I/II 相試験）

国立精神・神経センター神経研究所 遺伝子疾患治療研究部 岡田 浩典先生

テーマ 「Generation of muscular dystrophy NHP model with rAAV 1 and 9-mediated transduction of common marmoset」

（rAAV を用いた筋ジストロフィー動物モデルの作出）

#### 2. アンジェストラベルグラント賞（1名）

Kolon Life Science Inc.（韓国）Jung Jong Cho 先生

テーマ 「Tissuegene-C (TG-C), TGF- $\beta$ 1 transduced chondrocyte, improved clinical scores in patients with osteoarthritis: A phase 2b study」

（骨関節炎に対する TG-C 遺伝子による臨床第 2b 相試験）

これらの業績は遺伝子治療の発展において価値のある研究成果であり、受賞された先生方の日頃のご尽力に厚く敬意を表します。また、当社は、金田安史 遺伝子治療学会理事長

が宣言されている「基礎研究推進の理念の基に臨床応用を実現させる」という学会の基本方針に賛同し、今後も遺伝子治療の発展に努めて参ります。

以上

お問い合わせ先

アンジェス MG株式会社 経営企画部 広報グループ

TEL: 03-5730-2641